

生成 AI 活用に関する方針

ARE ホールディングスグループ(以下「当社」といいます)は、生成 AI をはじめとする先進技術を、企業活動の高度化および新たな価値創出を実現する中核的な要素と位置付け、持続的な競争力強化およびデジタルトランスフォーメーションの推進に活用していきます。一方で、生成 AI には、誤情報の生成(ハルシネーション)、学習データや入力情報の外部流出、知的財産権侵害、バイアス・差別の助長といったリスクが存在します。当社は、これらのリスクを適切に認識し、社会からの信頼に応える責任ある AI 利活用を実現するため、以下のとおり基本方針を定めます。グループ各社においては、会社が属する各国・地域の法規制、社会的要請を踏まえ本方針の主旨に基づいて運用を行ってまいります。

1. 本方針は、当社グループの役員および従業員に加え、業務委託先を含む当社の業務に関与するすべての関係者に適用します。また、社内業務への利用および顧客・取引先に対するサービス提供における生成 AI の活用に適用します。
2. 生成 AI の利用にあたっては、関連する法令、規制および社会規範を遵守し、適正かつ誠実に活用します。また、個人情報、機密情報および営業秘密の適切な管理を徹底するとともに、知的財産権を尊重し、第三者の権利を侵害することのないよう十分に配慮します。
3. 生成 AI の利用においては、すべての人の人権および多様性を尊重し、差別的、偏見的または不適切な内容の生成および利用の防止に努めます。
4. 当社は、生成 AI の利用にあたり、機密情報、個人情報および顧客情報の適切な管理を徹底します。特に、外部サービス型の生成 AI を利用する場合には、入力した情報が外部に送信・保存される可能性を踏まえ、機密性の高い情報の取扱いに十分留意します。
5. 生成 AI により得られる情報は、その性質上、事実と異なる内容を含む可能性があります。当社は、その内容の正確性および妥当性を人によって確認したうえで活用し、重要な意思決定および対外的な情報発信においては適切な人的関与を確保します。
6. 生成 AI を活用した情報発信等においては、その性質に応じて適切な説明責任を果たし、透明性の確保に努めます。
7. 生成 AI の適正利用を推進するため、管理部門を統括する担当役員を情報管理責任者とする管理体制を構築し、運用します。また、適切な利用に関する教育・啓発を行います。

当社は、生成 AI 技術の進展や社会環境の変化を踏まえ、本方針および関連する管理体制の継続的な見直しと改善を行い、信頼される企業グループであり続けることを目指します。

2026 年 6 月 30 日

AREホールディングス株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者(CEO)

東浦 知哉